

# JAAIAカーボンニュートラル促進イベント in 東京特集

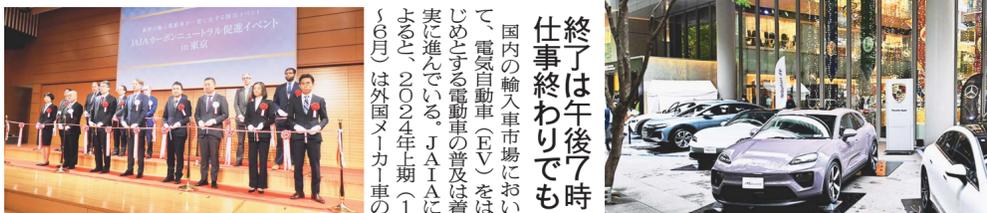
## 輸入電動車を直接見て触れて

ずらりと37台展示

日本自動車輸入組合  
上野 金太郎理事長

### 電動車市場の活性化に役立てば

JAAIAでは輸入電動車の普及促進を図るべく、2022年1年に東京で実施したイベントを皮切りに、電動車の認知向上を目的としたイベントを毎年実施してきた。22年は大阪、23年は神戸で実施した。今年は、日本の中心でもある丸の内エリアで、皇居と日本の表玄関である東京駅を結ぶ象徴的空間である行幸通りをメイン会場とし、丸の内通りにも面した丸ビル屋外スペース



日本自動車輸入組合(JAAIA、上野金太郎理事長)は、輸入電動車の魅力発信イベント「JAAIAカーボンニュートラル促進イベント in 東京」を11月15、16日に東京・丸の内エリアで開催した。東京駅と皇居前を結ぶ行幸通りなどに会員企業の電動車を並べ、都心を行き交うビジネスパーソンや観光客などに輸入電動車のラインアップの豊富さや性能の高さをアピールした。JAAIAが都内で一般向けに輸入電動車のイベントを開くのは初めて。充電インフラの拡充や整備士の採用などについてのトークセッションも開催するなど、見どころの多いイベントとなった。

豊富なラインアップ、高い性能  
十分に魅力  
アピール

### 一般向け 都内で初の開催

終了は午後7時  
仕事終わりでも  
国内の輸入車市場において、電気自動車(EV)をはじめとする電動車の普及は著実に進んでいる。JAAIAによると、2024年上期(1~6月)は外国メーカー車の

「ジャパンモビリティショー2023」の出展車両、フォルクスワーゲンID.クロスエレクトリックが競ったレース車のプロトタイプなど、日ごろはなかなか見られない車も展示された。訪れた人々が撮影する姿もみられた。

### EVに加え FCV、二輪車

会場は、行幸通り(15日)のみならず丸ビル屋外スペース、KITE(丸ビル屋外スペース)に加え、皇居前と皇居を結ぶ行幸通り(16日)にも展示された。会員企業12社から提供された電動車37台が並んだ。試乗プログラム、輸入電動車同乗体験会、輸入電動車の魅力や解説といったさまざまな企画も実施された。JAAIAでは、輸入電動車の普及促進を図るべく、2022年1年に東京で実施したイベントを皮切りに、電動車の認知向上を目的としたイベントを毎年実施してきた。22年は大阪、23年は神戸で実施した。今年は、日本の中心でもある丸の内エリアで、皇居と日本の表玄関である東京駅を結ぶ象徴的空間である行幸通りをメイン会場とし、丸の内通りにも面した丸ビル屋外スペース



プログラム(輸入電動車同乗体験会)車両の合計46台のラインアップとなった。また、車両は四輪だけでなく、電動二輪車など、世界最先端の電動と、輸入電動車の魅力や解説といったさまざまな企画も実施された。JAAIAでは、輸入電動車の普及促進を図るべく、2022年1年に東京で実施したイベントを皮切りに、電動車の認知向上を目的としたイベントを毎年実施してきた。22年は大阪、23年は神戸で実施した。今年は、日本の中心でもある丸の内エリアで、皇居と日本の表玄関である東京駅を結ぶ象徴的空間である行幸通りをメイン会場とし、丸の内通りにも面した丸ビル屋外スペース



大阪・関西万博の公式キャラクター、ミヤクミヤも登場した



## 電動車市場の未来を探る



15日には電動車を取り巻く課題などを意識したトークセッションを実施した。セッション①「電動車市場の現状と今後の動向」には上野理事長と経済産業省製造産業局の伊藤政道自動車課長、東京都産業労働局産業・エネルギー政策部の坂井彰洋EV推進担当課長らが登壇。丸ビル屋外スペースを会場とした。充電インフラの整備は、電動車の普及の鍵となる。充電インフラの整備は、電動車の普及の鍵となる。充電インフラの整備は、電動車の普及の鍵となる。

### トークセッション 多様な分野の有識者が登壇

セッション②は「充電インフラの環境整備」をテーマに議論した。登壇したのは、伊藤自動車課長、JAAIAの入野泰一、理事長兼専務理事、フォルクスワーゲングループジャパンのグローバルネットワーク・クマシメント部の長瀬宏昭シニアマネージャー。輸入電動車の普及と充電インフラの整備は、クルマの両輪のようなものといわれるなか、電動車購入をためらう人の多くが充電インフラであることが、普及の大きな課題となっている。セッション③は「クルマ・社会・パートナーシップ」をテーマに議論した。登壇したのは、伊藤自動車課長、JAAIAの入野泰一、理事長兼専務理事、フォルクスワーゲングループジャパンのグローバルネットワーク・クマシメント部の長瀬宏昭シニアマネージャー。輸入電動車の普及と充電インフラの整備は、クルマの両輪のようなものといわれるなか、電動車購入をためらう人の多くが充電インフラであることが、普及の大きな課題となっている。



同乗試乗会



### BMWやベンツ 9台用意

一般向けの「輸入電動た。東京駅前の丸ビル地下2階の駐車場を出発し、皇居前を左回りに一周する20分程度のコースだ。BMWが4車種、EVOが2車種、三菱が2車種、トヨタが2車種、ホンダが2車種、日産が2車種、合計9台を用意した。BMWは、BMWの「i4」を2台、EVOは「EVO」を2台、三菱は「三菱」を2台、トヨタは「トヨタ」を2台、ホンダは「ホンダ」を2台、日産は「日産」を2台用意した。当日は約70人が参加し、輪転機にドライバーが乗って、半分の距離を走行した。